

古きを訪ねて「和」を学び、歴史を知って深める「輪」



5月28日（月）から30日（水）まで奈良・京都方面の修学旅行に行きました。今年度の修学旅行のスローガンは『古きを訪ねて「和」を学び、歴史を知って深める「輪」』です。このスローガンには、古都（京都・奈良）を訪ねて日本の文化を学び和を感じ、班別行動や学級別行動を通じて協力しながら、仲間との輪を深めようという思いが込められていました。

1日目は、ガイドさんと一緒に奈良方面を回り、2日目は自分たちで行く先を決めて班別行動を行いました。また、京都の伝統文化である狂言を鑑賞しました。3日目は学級別行動です。北野天満宮・竜安寺・金閣寺・天龍寺・二条城・三十三間堂・東寺などをバスガイドさんの案内のもと、学級別に回りました。この修学旅行で学んだ日本の文化や、学級や班で協力することの大切さをよい思い出にして、残りの中学校生活を充実させてほしいと思います。

修学旅行担当教員 森田 圭介



6月3日（日）から3日間、長野県で林間学校を実施しました。朝6時に出発し、10時過ぎに真田に到着して農村体験を行いました。田舎で自然に触れながら農家の方と過ごした時間は、都会育ちの生徒達にとって貴重な時間になりました。夕方ホテルに戻り、飯盒炊爨を実施。昨年度の校外学習の経験を生かし、苦労しながら協力してカレーライスを作りました。

2日目は湯ノ丸登山を行いました。夜は生徒が心待ちにしていたキャンプファイヤーです。歌声班が計画したゲームを行った後、コントやダンス等各クラスが準備してきた出し物を発表しました。最後は学年全員でダンスを踊り、大いに盛り上がりました。

3日目はウォークラリーを実施し、急な斜面で息を切らしながら各自ポイントを探しました。11時半にホテルを出発し、夕方6時近くに我孫子に帰りました。

この林間学校を通して、きまりや時間を守ることや仲間との絆の大切さを学ぶことができました。学んだことを今後の学校生活に生かしていきたいと思います。

学年主任 瀧 磨